

年間授業計画

上水 高等学校 令和6年度（1年次用） 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科： 外国語 科目： 論理・表現 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書： (EARTHRISE English Logic and Expression I (数研出版))

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
話すこと（やり取り・発表）及び聞くことの三つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現できるよう指導する。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 「や 」	話 「発 」	書						
Lesson 1 Introduce yourself to your class 「紹介」をテーマに、5つの文型を用いて表現する。	【題材内容】 説明・紹介する 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【文法】 英文の基本構造(S+V...)/各品詞			○		○			○	○	○	5
Lesson 2 How do you spend your weekends? 「週末の過ごし方」をテーマに、動詞の現在形・過去形・未来を表す表現を用いて表現する。	【題材内容】 時を表す(現在・過去・未来) 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【文法】 過去形/現在進行形/will/be going to do/(未来を表す)現在進行形				○		○		○	○	○	5
Lesson 3 Where did you go on vacation? 「旅行」をテーマに、完了形(現在完了形/過去完了形)を用いて表現する。	【題材内容】 時を表す(完了形) 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと 【文法】 現在完了形/現在完了進行形/過去完了形					○	○		○	○	○	5
定期考査		○	○			○			○	○	○	1
Lesson 4 How can I get there? 「道案内」「謝罪のメール」をテーマに、助動詞can, may, must, have toを用いて表現する。	【題材内容】 能力・許可・義務などを表す 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【文法】 can/may/must/have to				○		○		○	○	○	5

一
学
期

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 「 <u>や</u> 」	話 「 <u>発</u> 」	書					
	Lesson 5 Would you like to come with me? 「部活のイベント」「後悔していること」をテーマに、would, could, may[might], should have done, must have doneを用いて表現する。	【題材内容】 依頼・勧誘や推量などを表す 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【文法】 would/could/may/ (should have+過去分詞) / (must have+過去分詞)			○	○	【知識及び技能】 would, could, may[might]等の意味を理解しており、それを実際に使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしている。 【学びに向かう力、人間性等】 イベントにクラスメートを誘うために、スケジュール表を見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとしている。	○	○	○	5	
	Lesson 6 Something really Japanese 「日本文化」をテーマに、(be動詞+過去分詞)を用いて表現する。	【題材内容】 「～される」を表す 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと ◎書くこと 【文法】 (be動詞+過去分詞) / be made of ～/ be interested in ～/ be pleased			○	○	【知識及び技能】 受動態の意味を正しく理解しており、それを実際に使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、発表している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が選んだ商品について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、発表しようとしている。	○	○	○	5	
	定期考査		○	○				○	○	○	1	
	Lesson 7 Do you have any volunteer activities? 「ボランティア活動」をテーマに、to doを用いて表現する。	【題材内容】 「～すること」などを表す (to do) 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【文法】 不定詞の名詞的用法/形容詞的用法/副詞的用法 / It is ... to do ～			○	○	【知識及び技能】 不定詞の名詞的用法・形容詞的用法について、正しく理解しており、それを実際に使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が参加したいボランティア活動について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、発表している。 【学びに向かう力、人間性等】 人に薦めたい場所について、相手にわかりやすいように工夫して紹介することができる。	○	○	○	5	
	Lesson 8 Let's enjoy school life! 「学校生活」をテーマに、(want+0+to do), (let[make]+0+do)などを用いて表現する。	【題材内容】 to do/doを使って表す 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【言語の働き】 状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案する、お礼や感謝を伝える 【文法】 (want+0(人)+to do) / (see+0(人)+do) / (let+0(人)+do) / (make+0(人)+do)			○	○	【知識及び技能】 (want+0+to do), (let[make]+0+do)について、正しく理解しており、それを実際に使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりしている。情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしている。 【学びに向かう力、人間性等】 部活動に関するインタビューについて、インタビュアーとして質問したり、インタビュアーからの質問に答えたりしようとしている。情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとしている。	○	○	○	5	
	Lesson 9 Are you eco-friendly? 「環境問題」をテーマに、doing (動名詞)を用いて表現する。	【題材内容】 「～すること」を表す (doing) 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと 【文法】 動名詞(主語になるもの/目的語になるもの/前置詞の目的語になるもの) / 動名詞の否定形			○	○	【知識及び技能】 doing (動名詞)の意味について正しく理解しており、それを実際に使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 環境保護のためにしていることについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、発表している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が環境保護のためにしていることについてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、発表しようとしている。	○	○	○	5	
	定期考査		○	○				○	○	○	1	
	Lesson 10 What sports do you like? 「スポーツ」をテーマに、doing/done (分詞)を用いて表現する。	【題材内容】 doing/doneを使って説明する(1) 【領域】(◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと 【文法】 doing/doneを使って説明する(1)			○	○	【知識及び技能】 doing/done (分詞)の限定用法の意味について正しく理解しており、それを実際に使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら、情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしている。 【学びに向かう力、人間性等】 サッカーの試合に関するインタビューについて、スコアボードを見ながら情報や自分の考えを整理し、ロールプレイをしようとしている。	○	○	○	5	

